

心が変われば行動が変わる ～ 1学期終業式 校長式辞～

【7月20日、1学期終業式の学校長式辞から抜粋】

この1学期は、4月以降、地域の方から西高生のことをほめてもらうことが何度かありました。その中から3つのことを話します。

1つ目は、青垣小学校の校長先生から、西高生は自分から「おはようございます」、「さようなら」という挨拶をしてくれるので気持ちが良いとほめていただきました。挨拶がきちんとできるというのは、大人への入り口です。社会人になれば、会社で最初に言われることが「大きな声ではっきりと挨拶をしなさい」ということです。

私も朝、昇降口に立っていますが、きちんと挨拶のできる生徒が増えたと感じています。自然と挨拶ができるように、挨拶をすることが習慣になればいいですね。

2つ目は、西高生の表情や雰囲気がとても明るいと言っていたことです。6月に行った体育大会で、保護者や地域の方から「高校の体育大会がこんなに面白いとは思わなかった。生徒の表情がとても明るい」と、ほめてもらいました。見ている人にも感動と元気を呼び起こし、さわやかな笑顔と達成感に満ちたすばらしい体育大会だったと思います。

3つ目は、7月13日に実施したクリーンアップ大作戦です。小学生や中学生に指示を出すみんなの姿を見て、さすが高校生だと頼もしく感じたという声を、西高の先生方から聞きました。実施前には、小・中学生を入れた班のリーダーが務まるのかと心配されたようですが、そんな心配は全く必要なかったようです。

4月の始業式では、この地域には、小学校の統合によってこども園、小学校、中学校、高校の4つが近い距離に存在することになり、さすが高校生と言われるような言動がますます求められる。ぜひ、小学生、中学生の模範となるような高校生になってほしいという話をしました。みんなは、それを立派に実行してくれていると思いました。

たくさんほめてもらった1学期でしたが、私はまだまだ良くなると思っています。

プロ野球選手で大リーグでも活躍した元ジャイアンツの松井秀喜選手の言葉を紹介します。

心が変われば行動が変わる	行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる	人格が変われば運命が変わる

心の持ち方や気持ちは行動に現れる。その行動を繰り返すことで習慣となり、良い習慣を身につけると自分の性格や人格、将来までも変えることができるという意味です。また、心の持ち方や気持を変えない限り人は変わることができないということです。

大きく成長する可能性をみなさん一人一人が持っています。心の持ち方次第でいくらかも変わることができます。

(校長 高橋信之)